



久米島町議会報告会・意見交換会開催

2024.9.1

No. 8

6月定期会

特集】議会報告会・意見交換会	..P2~4
定例会・臨時会で決まったこと P5
町政を問う 一般質問 P6~18
委員会・議員活動レポート P19
議会のうごき・編集後記 P20

1

A colorful, stylized cartoon animal head logo, possibly a dog or bear, featuring large ears, a pink face, and blue and yellow patterns.

久米島町の人口・世帯数 (2024年6月末現在)

計 男 3,844人
7,172人 女 3,328人
3,934世帯



報告会・意見交換会を開催

議会報告会・意見交換会を6月22日(土)、久米島町具志川農村環境改善センターで開催しました。79名の町民に参加いただきました。

議会報告会・意見交換会では、議会の活動状況を報告し、広く町民と意見を交わしました。

開催の趣旨

議会の監視機能や議会活動の状況を町民に直接報告・説明し、情報の提供や議会活動に対する質問や意見、町政に対する提言などを直接聴取することで議会の機能を高める趣旨で開催しています。

第一部 議会報告会

議会活性化特別委員会委員長、新垣議員によつて、久米島町議会、委員会活動、久米島町議会基本条例等の説明が行われました。

第二部 意見交換会

意見交換会では多くの「ご意見・ご要望を頂きました。頂いたご意見・ご要望を抜粋・要約してご紹介させていただきます。

質問 防災について

4月に台湾大地震に伴う津波警報が久米島にも発令された。防災倉庫が低い位置、避難場所から離れた位置にあるので避難した際に利用するのが難しい。また避難場所に関するも、イーフ地区は以前、2つのホテルの屋上が避難場所に指定されていたが、ホテルの休館、運営会社の変更に伴い、現在の避難指定場所

回答

風の帰る森施設について
風の帰る森施設はなぜ閉鎖しているのか。利用希望者が多くいるがなぜ利用できないか。
町の説明では、指定管理者の公募を行ったが、応募者が公募要件を満たず、未だ指定管理者不在のため、閉鎖の状態が続いている。施設再開に向けては再公募を行うべく町は準備を行っている。

質問

災害弱者・観光客には垂直避難できる避難タワーの必要性、特に奥武島では橋を渡つての避難になるため、災害・津波発生時の避難が非常に困難なことだ
と認識している。行政と避難指定場所の検証を行うとともに、奥武島への避難タワー設置についても議会として建設できることよう訴えている。



6月の定例会一般質問では8名の議員が防災について取り上げており、議会としても現在の久米島町民の関心の高い事案だと認識している。質問にあつた防災倉庫に関しては避難指定場所に近接した位置に設置、避難場所は、以前と同様にホテルの屋上が使えるよう協定締結、町財政面を考慮しながら避難タワー建設に関して訴えていきたい。

質問

字奥武も久米島の離島という事で、奥武島島内に島民・観光客が避難できる避難指定場所・避難タワーの設置を強く求めます。

回答



令和6年度 久米島町議会

質問

町の人口減少についてどのような考え方を持っているか

回答

議会としても町の人口減少は一番の喫緊の課題として捉えている。仕事、住居、交流人口・関係人口へと幅を広げ、人口減少を止めるることは出来ないが、下げ幅を緩やかにすることに取り組むことが大事であると考えている。議会・行政・市民、久米島町全体で知恵を出し合い人口減少問題に取り組めればと思つ。

**質問**

老人クラブ連合会の参加地区(字)が減り、また職員不足等により社会福祉協議会からの支援が中断状態である。久米島町でも高齢者組織を充実させてほしい

回答

老人クラブ連合会への加入者を増やすには各地域での工夫が必要である。社会福祉協議会の支援が打ち切られたことは驚きだが、市町村は老人福祉法に基づいて老人の福祉を増進するための支援をしている。久米島町・社会福祉協議会・老人クラブ連合会で老人福祉増進について考えていく必要があると思われる。

質問

議会でも島内の名学校を視察し少人数学級、複式学級は把握している。今後、町としては審議会に諮問し、パブリックコメント等を踏まえたうえで、小学校・中学校の適正規模・適正配置(統廃合)に向けて進むことになるとと思う。

質問

久米島海洋深層水事業について

海洋深層水の取水管を10倍にするという話が、海洋深層水フォーラムであったが、高知県ではにもかかわらず、年間約100億円以上の売り上げを出している。久米島は企業数も高知県に比べると少なく、ただ闇雲に取水管を増やすのでなく改善の余地があるのでないか。

質問

海洋深層水取水量を現在の10倍、10万tへの規模拡大は、商業・経済のみではなく、温度差発電、久米島町の電力消費を賄い複合利用するため10万tの海洋深層水取水量が必要であると認識している。

質問

松くい虫について

現在の進捗状況、今後のビジョン(植樹計画等)を聞きたい。

回答

守るべき松には樹幹注入、ドローンによる薬剤散布を行つており、倒木の恐れのある松は伐倒をしている。それ以外の松については、手の打ちようがないことから戦略的放置という方法で対応している。植樹については松にこだわることなくフクギやチャーゲ(イヌマキ)など建築資材となる木の植林も一案ではないかと思っている。

質問

年間を通して道路環境美化を維持できないか

県道は県の管轄という事もあるが、議会・町と共に道路環境の美化を維持できるよう検討していきたい。

現在の少人数6校の学校運営では、小学生同士の交流の量が少ないように思われ、実際に通つている小学生目線に立つて統廃合は積極的に行っていくべきだと思う。数年後の統廃合に向けてという動きではなく、3月にやむを得ず1校になってしまった幼稚園の例もあるが、もつとスピード感をもって小学校の統廃合に邁進していただければと思うが議会の見解は。

議会報告会・意見交換会

質問 地域おこし協力隊の活動をもっと理解してほしい

回答 町営塾の進学実績、まなびや・よんなあ教室の活動実績、また協力隊員が地域行事にも積極的に参加していることも把握しているので議会としても地域おこし協力隊の活動に協力していきたい。

質問 人口減少・久米島高校への進学率低下について

人口減少はスピードとタイミングを持って対応していないかないと経済が疲弊していくようと思われる。町内から久米島高校への進学実績が低下、町外への生徒流出と人口減少の悪循環が起こっているように感じるが議会でも話が合われているか聞きたい。

回答 議会でも多くの議員が一般質問等で言っているが、高校・大学進学の際に島外に出て、島に戻つてこない、生産年齢人口・女性人口も少なく人口の自然増は望めない状況にある。人口対策としての海洋深層水による企業誘致に取り組んでいるがまだ結果が見えない。移住・定住政策では実績として260名程の移住者受け入れの実績があるが、人口減少の歯止めにはなっていない。議会・議員としても自分事として捉え行政と一緒にやって、全国の事例を参考にして今の人口にあつた政策も県外視察を通じて島民の皆さんに報告できればと思う。久米島高校への町内中学生の進学率低下は、高校魅力化事業で離島留学生を受け入れており、県外からも注目されている事業である。この高校魅力化事業を通じて新たな久米島高校の魅力を島民一丸となって伝えていかなければいけない。

質問 離島留学制度について

現在は離島留学生の受け入れが寮のみとなっているが、離島留学制度の新しい形として親子留学やホームステイ制度の見直しを行えば、離島留学生受け入れの拡充へつながるのではないか。

回答

離島留学生の受け入れを始めて10年になるが、寮運営は寮長・舍監等課題を抱えている。町からも県の教育庁に舍監を配置できないかなど要請をし、課題解決に向け動いている。議会としても行政と一緒に課題解決しながら取り組んでいかなければと思う。

質問 令和5年度議会報告会・意見交換会にて下記6項目を重要な要望として、町長に対応を求めました。

要望①松くい虫対策について
回答.. 松くい虫による被害については、防除対策及び危険木対策等、関係課において連携し、それぞれの部署において補助メニューを模索し、予算の確保に取り組んでまいります。

要望②畜産業の支援について

回答.. 久米島町において飼料高騰対策として飼料購入補助、また、国、沖縄県の事業でセリ値下落に対する補助、それから県、JAおきなわの方でも配合飼料の補助を行ってきました。今後も畜産農家の経営安定が図られるよう取り組んでまいります。

要望③民生委員の担い手不足解消について

回答.. 令和5年度に新たに2名確保しておりますが、未だに定数に達しておりません。引き続き、関係機関と連携を図り民生委員の確保に努めてまいります。



要望④久米島斎場焼却炉稼働拡充について
回答.. 火葬場の2炉同時稼働につきましては、経済性や不測の事態を考えた場合、現在の交替稼働が最も適していると思われます。同時に稼働につきましては、改修費用等を考えた場合、厳しいものがありますが、今後も利用者に寄り添った対応を心掛け、ご理解をいただけるよう取り組んでまいります。

要望⑤離島留学制度の拡充について
回答.. 令和6年度において、久米島高校魅力化プロジェクトとして実施している各種取組みを検証することとしており、受け入れの在り方や、拡充についても検討してまいります。

要望⑥久米島町歌・久米島町音頭の普及について

回答.. 久米島町歌および久米島町音頭につきましては、久米島まつりや新年会等で披露するなど普及活動に取り組んでいるところですが、町に浸透するよう引き続き、普及活動に積極的に取り組んでまいります。



貴重なご意見・ご要望、誠にありがとうございます。意見交換会で頂いた町民の皆様の多くの意見から重要な要望を議会活性化委員会で協議させていただいた上で、町長へ早急な対応を求めて提出致します。

定例会・臨時会で決まったこと

6月定例会

令和6年6月(第4回)定例会は、6月10日から12日の3日間の日程で行われ、議案7件、承認2件、報告4件、同意2件を審議した。議員13人が登壇し一般質問が行われた。

令和6年度補正予算

- 一般会計補正予算(第3号)
99億6,238万円(1億4,514万円増)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
9,171万円(60万円増)
- 水道事業特別会計補正予算(第1号)
資本的収入 1億4,840万円(840万円増)
資本的支出 2億5,126万円(1,301万円増)



条例制定

- 久米島町コミュニティ放送設備管理条例
地方自治法238条の4第7項に基づき、「行政財産」は用途を妨げない範囲で使用を許可することができ、地方自治法第228条にて「使用料」は条例に定める必要がある。



一般審議

- 過疎地域持続的発展計画を変更することについて
久米島町過疎地域持続的発展計画に新たな事業を追加、及び事業名の変更をするため、同計画を変更しようとするものである。
- 沖縄県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
広域連合の規約の変更については地方自治法第291条の3第1項により関係地方公共団体が協議で定めることとされており、当該協議は同法第291条の11の規定により、関係地方公共団体の議会の議決を得る必要があるため。
- 新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更について
本案は、兼城港港湾区域内の公有水面埋立地について、新たに生じた土地を確認し、当該土地を隣接する字の区域に編入するため、地方自治法第9条の5第1項及び同法第260条第1項の規定により、議会の議決が必要である。



承認

- 専決処分(令和6年度久米島町一般会計補正予算(第2号))の承認について
一般会計補正予算(第2号)
98億1,724万円(369万円増)
令和5年度久米島町国民健康保険特別会計において、歳入が歳出に対し不足し、赤字決算が見込まれるため、一般会計より繰出金にて補填する必要があるが、予算執行に当たり特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分する。
- 専決処分(令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号))の承認について
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
11億5,751万円(369万円増)
令和5年度久米島町国民健康保険特別会計において、歳入が歳出に対し不足し、翌年度の歳入をもって繰上充用をする必要が生じたが、収支の確定が年度最終日となるため、補正予算について議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分する。



報告

- 令和5年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
繰越予定額 27事業 合計12億6,485万円
- 令和5年度久米島町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
繰越予定額 2事業 合計3,509万円

- 令和5年度久米島町水道事業会計予算繰越計算書の報告について
地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額
繰越予定額 1事業 合計3,100万円
地方公営企業法第26条第2項ただし書の規定による事故繰越額
繰越予定額 1事業 合計677万円
- 令和5年度久米島町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額
繰越予定額 1事業 合計237万円

教育委員会教育長・委員の任命

- 教育委員会教育長の任命について
宇江城 詮(うえしろあきら)氏
学歴・職歴
・明星大学人文学部心理教育学科 卒業
・比屋定小学校 他2校 教諭
・前田小学校 教頭
・曙光小学校・オーストリアワイン日本人学校 校長
・沖縄県教育庁(指導主事・人事係長・主幹・人事管理監・課長・参事)
- 教育委員会委員の任命について
大田 佳世子氏



第3回臨時会

会期: 令和6年5月10日

令和6年度補正予算

- 一般会計補正予算(第1号)
98億1,355万円(2億3,589万円増)



承認

- 専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認について
地方税法等の一部を改正する法律が公布され令和6年4月1日から施行されることに伴い、久米島町税条例についても一部を改正し同日から施行する必要があるが、同条例の改正について議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法179条第1項の規定により専決処分する。
- 専決処分(久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例)の承認について
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第24条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部を改正する省令が公布され、令和6年4月1日から施行されることに伴い、久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例についても一部改正し同日から施行する必要があるが、同条例の改正について議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法179条第1項に規定により専決処分する。



報告

- 専決処分(儀間地区排水路改修工事(R4-1))の報告について
契約金額中「63,910,000円」を「66,962,500円」に変更する。

第5回臨時会

会期: 令和6年7月5日

令和6年度補正予算

- 一般会計補正予算(第4号)
100億8,440万円(1億2,201万円増)



請負契約

- 仲里歯科診療所新築工事請負契約について
契約の方法 指名競争入札
契約の金額 139,590,000円
契約の相手 株式会社 丸吉組
- 沖縄地区(久米島)中層型浮魚礁回収・設置工事(R6)請負契約について
契約の方法 指名競争入札
契約の金額 135,300,000円
契約の相手 有限会社 山里土建



陳情

- 強引な幼稚園1園での実施に関する陳情



問う・一般質問



保久村 登 議員

問 圃場への農業機械乗入れのための開渠水路への蓋掛け又は移動通路の設置を

答 機械の乗入場所確保の相談があれば対応している。大型機械の場合は、農家や機械所有者と協議して取り組む

問 農業の担い手の減少、高齢化の進行による労働力不足に対応するためには、農作業の機械化が必須となっている。ところが、本町においては、道路と圃場間の水路が蓋のない開渠のままとなっているため、機械が圃場に進入できなかつたり、進入したら水路を損傷したりという箇所があり、特にサトウキビ生産農家の機械化の妨げとなっている。また、このままでは、機械の転倒による人身事故発生の恐れもある。そこで、機械化による農業の安定経営及び農業従事者の安全確保の観点から、水路の所有者でもある町において、開渠のままとなっている水路に①蓋掛けをする、又は②移動通路を設置するなどの方策をとる必要がある。

答 機械化に対応する基盤整備が遅れおり、排水路等が破損している箇所がある。

機械の場合は、農家や機械所有者が対応しているが、大型機械の場合は、農家や機械所有者が工夫して対応する必要がある。関係者と協議して取り組む。

問 農業の担い手の減少、高齢化の進行による労働力不足に対応するためには、農作業の機械化が必須となっている。ところが、本町においては、道路と圃場間の水路が蓋のない開渠のままとなっているため、機械が圃場に進入できなかつたり、進入したら水路を損傷したりといつては、現場状況確認の上、可能な範囲で対応している。

なお、本来だと水路を改修して大型機械の乗り入れ口を確保したほうがよいが、多額の費用がかかるため補助事業を導入して取り組む必要のある場所については、当面の間、道路に面している畑の所有者等と相談の上、大型機械が入れるような工夫をやってもらえば助かると考えている。

問 本町は、国から、法定外公共物である里道及び水路の譲与を受けたか
答 平成16年11月に譲与を受けた



左：真我里一水路右が数筆の畑。奥の畑への機械進入困難
右：字西銘開渠水路

問 真謝のサンガータから左に土地改良区及び集落内外清掃等において管理に努めている。

イ 里道及び水路の破損等があれば、町及び土地改良区で補修に努めている。
ウ 崩落の恐れのある場所については未然防止対策を検討し、崩落した場所があれば、水路の機能回復に取り組んでいる。

問 真謝のサンガータから左に折れる町道宇根11号線には、水路が土で塞がれているため排水がなされず、大雨になると道路の下りから上りにかかる底の辺りに水が溜まる。路面も悪く、車での通行も危険。改修に取り組みたい。

一般質問の記事では、質問と答弁の内容を各議員自身が要約して掲載しています。
一般質問の全文は久米島町議会ホームページ内「会議録」よりご確認ください。
※このでは年号（令和）を一部省略しております。

町政のことを見つける・一般質問

町制のここを



喜久里 強 議員

問 役場周辺の歩道にガードパイプの設置を

答 事業効果等を勘案して必要性を検討する

問 役場周辺に、仲里小学校、球美中学校、中央保育園、なでしこ保育園等、教育施設があり、歩行者も大変多い。ガードパイプは仲里小学校から仲里給油所にかけて、球美中学校前にあるのみ。歩行者にとって大変危険である。役場周辺歩道のガードパイプ設置に対する町長の見解を伺う。

答 県道の防護柵設置は、交通量が多い道路で通学路であれば設置の可能性があり、質問の箇所は事業効果等を勘案して必要性を検討する。

問 交通量が多い道路で、通学路であれば設置が可能であるという答弁だが、指摘箇所はれっきとした通学路であり、小学校、中学校、保育所等も有する。これは設置条件を満たしていないという事か。

答 この区間は、通学路があるので、設置の可能性はある。

答 役場周辺に、仲里小学校、球美中学校、中央保育園、なでしこ保育園等、教育施設があり、歩行者も大変多い。ガードパイプは仲里小学校から仲里給油所にかけて、球美中学校前にあるのみ。歩行者にとって大変危険である。役場周辺歩道のガードパイプ設置に対する町長の見解を伺う。



左：球美中前横断歩道



問 平成29年に比嘉公民館が建設され、令和3年に仲里公園

答 関係機関に働きかけをしていきたい
問 押しボタン式信号機設置を

問 台風通過後の節水協力はどういう理由か

答 断水の恐れがあるため

答 歩行者が横断歩道を横断する際は、車両は停止する義務があり、道路交通法の遵守をドライバーに周知するとともに、安心して道路を利用できるよう信号機設置が可能か関係機関に働きかけをしていきたい。

問 本町の下水道整備の進捗状況を地域別に伺う。

答 が完成。利用者が増え、横断歩道を渡る際、止まらない車が多い。大変危険な状態である。町民を交通事故から守るために、押しボタン式信号機設置を。

問 台風通過後たびに町から節水協力願いの放送がある。ダムの水量が満杯であるにもかかわらず、同じようなことをしているが、それはどうい

問 下水道幹線の接続率は。

答 66%、具志川地区で73%。
答 接続費の助成は。

答 上限30万円の無利子貸付制度がある。

問 本町の下水道整備の進捗状況を地域別に伺う。

答 台風通過後、各家庭で清掃や洗車などで水の使用量が増加すると、各配水池の水量低下に伴い、断水の恐れがあるため。



真栄平 建正 議員

問 ハーベスター料金の低減を

答 農家、事業者と意見交換し、議論検討する

問 県内一高い6千円は妥当な金額と考えているか。

答 全県調査では高い方だと理解している。

問 他との比較ではなく、客観的に高いか、妥当であると考えるか。

答 それほど高いとは思わない。維持管理もあり低くするのは厳しいと思う。

問 高くないとする根拠は。各々の法人で単価設定しているのか。

答 単価は減価償却費、燃料費、人件費等の積上で設定すると思うが、事業所により違いがあり、町で根拠を示すのは厳しい。6千円ではなく、増減して請け負っていることも確認している。サトウキビ振興協議会で6千円ということを指示していない。

問 サトウキビ振興協議会の目的は。

答 「地域に即した生産振興を図り、久米島糖業の振興と農家経済の安定、向上に資する。」ことである。

問 定款の規定でもそのようにうたわれている。その目的達成のためにも、農家から求められている単価低減を協議会で

話しかわるべきでは。

答 農家、ハーベスター所有者と6千円が妥当なのか議論検討していきたい。

問 単価が高いのか低いのか説明する考え方があるか。

答 単価は積上り、妥当な金額なのか、事業者と意見交換する。

問 単価の必要性はあるか

答 幅員の狭い箇所、観光関連事業者から要請があつた

問 宇江城城址線は整備の必要性はあるか

答 要請があるため。



左：宇江城城址線 右：真泊1号線

側の道路は地域からの整備要望が高い。そのようなところに予算投入すべき。また、マンドウ原の整備は地域からの陳情を建設・経済委員会で妥当な陳情であるとして採択している。20年前から地域、議会から要請もあるが進展がないのは何故か。

問 宇江城城址線の事業費の申請

答 補助事業採択、用地取得、財源確保、費用対効果が厳しいため。

問 宇江城城址線の事業費の申請

答 1年分をマンドウ原に回せば2千万円台で整備可能との試算もある。町長の見解を地元、町議、県議と連携して真泊1号線、謝名堂集落南側の道路に比べ高速道路のようなきれいな道路である。そのような道路に事業費投入する必要があるのか。R4・5年度平均1億3千2百万円の事業費、年間8カ月の通行止、少ない交通量、観光振興に資するのか、事業効果が得られる事業に予算を使うべきでは。

答 終点側は幅員が狭く車両の脱輪等があり、観光関連事業者から要請があつて事業実施した。

問 真泊1号線、謝名堂集落南

水整備が進展した。地元も町負担の軽減等に努力をしきることも考慮を。

答 どれほどの事業費で整備可能なか再度検討したい。

問 飲料水原水の安定確保を

答 県、土地改良事業団体連合会と協議し、検討推進する

問 飲料水原水の貯水率は

答 それぞれ25・1%、10%以下、80%であった。今後も渴水は想定される、ダムの連結等を含め取り組む。

問 儀間ダムのように嵩上げ部分を飲料水として確保している。白瀬ダムも嵩上げができるのでは。その他、比屋定シンバルの湧水の活用等も検討しては。

答 どのような対策、事業導入が出来るか検討する。

その他 防災計画の見直しを



田端 努 議員

問 役場職員の避難訓練実施を

答 関係課と調整し実施に向け準備する

問避難者に対する物資の提供は適切であつたか。

問 防災の専門家を育てるべきではないか。

問 日本一の出荷量を誇るクリスマスエビの出荷と着荷の状況
市場での取引価格に課題があり、その解消に向けて保冷コンテナの導入が必要だと考え
るが、同型の保冷コンテナを導入していかないか。

地域の避難・誘導体制は。答 登那霸公園園地付近に相当数の車両、町民が集まつた。美崎地区で人口の約45%、仲里地区で約28%の700名余りの避難者が集中した。当初の人員配置では足らず、何名か増員した。今後の大きな課

を非常用ハンズ等に積め、
いで出て行くなど、事前に準備する自助の部分を行政としてアピールしていく。
問 地域防災計画の見直しの検討を。

問前回質問時にも要望した
が、まずは役場職員の避難訓
練を実施すべきでは。

う周知したい。
問 今後、避難警報等が発令された場合の備えとして、事前準備の周知は。

う周知したい。

来ないか検討していく。



防災用物資保管施設・海拔表示



日本一の出荷量を誇る久米島産クルマエビ

問 浜の活力再生プランの早期策定に向けての取り組みを。

答 漁協と漁協の各部会、本町で意見交換を行う。今漁協の方で計画を作成中で、内容を確認の上、意見交換を行い、事業実施計画に向けて取り組む。

答 沖縄県花卉園芸農業協同組
している太陽の花の費用面は。

問 石垣島・竹富島視察から

答 町民が利用しやすい施設運営・町民サービスに積極的に取り組む



喜久里 猛 議員

久米島でも発見が確認された特定外来生物のツルヒヨドリ
(環境省パンフレットより)

問 竹富町に「子ども未来課」が設置されている。行政の前向きな姿勢を感じたが。

答 昨年度より本町福祉課に「子ども班」を配置し、町民サービスの向上に向け取り組んでいる。

問 石垣島で外来雑草、新種の外来雑草が増えている。外来雑草を特定外来生物に指定し事業を起こせないか。

答 外来雑草の把握が出来ていないので、情報収集も含め駆除の取組みに繋げていければと思う。特定外来生物の指定は国が行うため、本町でも新種の外来雑草が確認できれば国・県との調整を進めていく。

問 松くい虫被害後の植林計画を

答 対応を協議していく

問 松くい虫被害は我々の予想を上回る早さで被害が広がっている。将来を見据え植林をする必要があるが町の計画を

答 台風等による自然災害が考えられることから、防除対策と並行して検討すべき課題であると認識している。松の更新や樹種転換、人工的な植林など、様々な事例があるので、本町において最適な方法を模索し対策を協議していく。

答 台風等による自然災害が考

えられることから、防除対策と並行して検討すべき課題であると認識している。松の更新や樹種転換、人工的な植林など、様々な事例があるので、本町において最適な方法を模索し対策を協議していく。

問 ドローンを活用した薬剤散布も始めているが、環境に配慮し風の強い日は避けるなど慎重に防除作業を行っており、今後も状況を見ながら散布を行っていく予定となっている。

答 接岸場所に関する意見交換しているとの事であるが、行政も一緒に解決・議論していきたい。

問 高速船の就航は

答 6年9月頃就航予定のこと

問 那覇ー久米島間の高速船は何月に就航するか。

答 実施事業者によれば、一般旅客定期航路事業の新規許可に伴う手続きを沖縄総合事務局へ申請し許可が最短で2か月を要することから高速船の就航は6年9月頃の予定とのこと。

問 久米商船から株主である本町に高速船共同経営・運航の協定書調印についての話はあったか。

答 久米商船の総会で協定書が議案としてあがるのかは把握できていないが、協定書のコピーは入手している。

港の接岸護岸では危険があると指摘されているが。

答 接岸場所に関する意見交換しているとの事であるが、行政も一緒に解決・議論していきたい。

問 久米島町民には運賃に対して離島割引があるが、一般客は割引がない。オーシャンジェット社役員の話では株主になると株主優待割引、友の会に入ると友の会割引をすると言っている。実際にこれは実現が可能なのか。

答 オーシャンジェット社役員と意見交換をした際、久米島町民は離島割引を使って半額にする話を聞いたが、県に問い合わせたところ、まだ離島割引は県と調整を行っていないとのことであった。郷友割引も行うという事で話があつたが、郷友会員の線引きもまだ出来ていないのでこれらの調整が今後の課題なのではないかと思っており、半額での割引制度が出来るのかどうか慎重に推移を見据えたい。



幸地 猛 議員

問 町民所得の向上は

答 第2次総合計画に掲げる施策を推進する

問 沖縄県統計課では2021年度の市町村民所得を発表した。本町は204万5千円と4%の増加になつていて、対県民所得の90・6%となつていて、町民所得の向上を図る対策を講ずる必要があると思うが。

答 基幹産業である農業・漁業の更なる振興に加え、観光産業との連携や情報通信技術の導入、生産品の付加価値化を推進する必要があると考えており、持続発展のために手の確保及び育成が重要であると思っている。

問 一人当たりの市町村所得は北大東村が463万5千円で、11年連続トップとなっている。本町は一人当たりの市町村民所得204万5千円で41市町村中35位である。町民所得向上の具体的な対策は。

答 町民所得を向上させるためには、農漁業の振興、観光振興、特産品販路開拓事業、海洋深層水事業による新たな企業おこしなど、全体的に網羅した施策

問 沖縄県統計課では2021年度の市町村民所得を発表した。本町は204万5千円と4%の増加になつていて、対県民所得の90・6%となつていて、町民所得の向上を図る対策を講ずる必要があると思うが。

答 基幹産業である農業・漁業の更なる振興に加え、観光産業との連携や情報通信技術の導入、生産品の付加価値化を推進する必要があると考えており、持続発展のために手の確保及び育成が重要であると思っている。

問 台湾付近を震源とする大地震で津波警報が発令された際の避難行動では、町民が津波を避けるため高台に避難した。その際のあらゆる角度から検証する必要があると思うが。

答 今回の避難では、車移動が多かったため避難場所配置人員の避難経路で混雑が起きており、避難誘導において支障が出た。それぞれの避難場所において、複数の避難経路や誘導箇所、配置人員など避難状況にあつた迅速な人員配置が必要であつたと思っている。

問 避難しなかつた人の調査は行つたか。

答 避難されない方の詳細な調査は行つていない。

問 台湾付近を震源とする大地震で津波警報が発令された際の避難行動では、町民が津波を避けるため高台に避難した。その際のあらゆる角度から検証する必要があると思うが。

答 今回の避難では、車移動が多かったため避難場所配置人員の避難経路で混雑が起きており、避難誘導において支障が出た。それぞれの避難場所において、複数の避難経路や誘導箇所、配置人員など避難状況にあつた迅速な人員配置が必要であつたと思っている。

問 台湾付近を震源とする大地震で津波警報が発令された際の避難行動では、町民が津波を避けるため高台に避難した。その際のあらゆる角度から検証する必要があると思うが。

答 今回の避難では、車移動が多かったため避難場所配置人員の避難経路で混雑が起きており、避難誘導において支障が出た。それぞれの避難場所において、複数の避難経路や誘導箇所、配置人員など避難状況にあつた迅速な人員配置が必要であつたと思っている。

問 運動公園施設内のトイレ改修、新たにグラウンドの芝張りをすればサッカーにも利用できる。町民の小さい声かもしれないが、個別の改修計画ではなく、総合的な整備計画を作成すべきだと思うが。

答 今ある施設は町民の健康増進、キャンプ(野球)・スポーツ大会の誘致には欠かせない施設である。使える施設と使えない施設をより分けて、いかに使いきるかを含めて検討していく。

問 運動公園施設内のトイレ改修、新たにグラウンドの芝張りをすればサッカーにも利用できる。町民の小さい声かもしれないが、個別の改修計画ではなく、総合的な整備計画を作成すべきだと思うが。

答 他市町村の取組み情報を収集しながら、町民の生命・財産を守るのが責務であるので、しっかりと対応していきたい。

問 運動公園施設内のトイレ改修、新たにグラウンドの芝張りをすればサッカーにも利用できる。町民の小さい声かもしれないが、個別の改修計画ではなく、総合的な整備計画を作成すべきだと思うが。

答 今ある施設は町民の健康増進、キャンプ(野球)・スポーツ大会の誘致には欠かせない施設である。使える施設と使えない施設をより分けて、いかに使いきるかを含めて検討していく。



仲里総合グラウンド



比嘉神屋 津波避難場所

答 全体的な公園整備計画はない



盛本 實 議員

問 久米島海洋深層水事業の今後の展開は

答 課題解決に強力に取り組む



久米島海洋深層水フォーラム 2024

問 海洋深層水複合利用「久米島モデル」の中で示している経済効果が80億円／年、雇用創出1,500名／年の効果は町民にとっては一大関心ごとであるがこの事業が遅々として進まない理由は。

答 町主体でコンソーシアムを発足し国及び県や大学、関係機関と意見交換・調査をしてきたが、いずれの調査においても国内実績がなかつたため調査等に長期の年数を要している。
問 久米島海洋深層水ブランド向上のために設置された連絡協議会の現状は。

答 毎年6月12日の海洋深層水の日に合わせ諸々のイベントの開催。2～3年の頻度でフォー

ルムを開催し研究発表の実施。来年度には本町において全国海洋深層水学会開催予定。
問 今後の進め方は。

答 民間事業者の実証実験も視野に入れながら、事業実現に向けた産・学・官の強化を図り取り組む。

問 第3次久米島町観光振興基本計画への取り組みは
答 アクションログラムの着実な実施

問 今年からスタートした第3次久米島町観光振興基本計画の実施計画策定は。

答 実施計画は策定しておらず、優先的・重点的に取り組む事業を年次的に示したアクションプログラムを策定し対応する。

問 達成目標値で観光客15万人／年、観光消費額10万円／人を掲げているがその可能性は。

答 本町の課題である繁閑差対策を強化することにより目標

達成が望める。

問 政策目標達成のための予算
答 官公庁等、関係省庁の各種補助メニューや沖縄振興特別交付金などを積極的に活用する。

問 基本理念の「持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズム」の推進方法は。

答 観光振興条例に示された町、観光事業者、観光関係団体、町民それぞれの役割の遂行。具体例として、ホームページの充実、FM久米島の活用等々。

問 沖縄県では、郷土文化を見直す機運が高まる中、「しまくとうばの日」に関する条例を制定しその奨励に努めている。本町でも「しまくとうばの日」を制定し各地域に伝わる伝統的な言語文化を保存・普及・継承の奨励をする考えはないか。

答 県条例に基づく「しまくとうばの日」を認識し、学校においても「しまくとうば読み」を活用し、子供たちがしまくとうばに触れ、学ぶことができるよう取り組む。

問 「しまくとうば」の普及・促進は

答 県の普及推進計画を推進する

問 新たな道路環境の創生
答 県と調整しながら進める

問 新たな道路環境の創生

答 早めに伐木し松以外の樹種による植栽を施し、新たな道路景観を形成した方が良いと思うが如何か。

答 県と調整を行い検討する。

しまくとうば普及推進計画
(沖縄県 HP より)



赤嶺秀徳議員

問 産業振興に係る戦略品目認定は

答 認定は県が行う

- 問** コーヒー・バニラの認定の可能性は。
- 答** 認定には、栽培面積や安定出荷体制の確立など各種要件が必要、コーヒー・バニラは認定要件自体が定められていない。現時点での認定は困難。
- 問** 認定が可能である場合、その手続きは個々で行うのか。
- 答** 認定の可否は現時点では困難、認定作業は生産者やその団体と本町が連携して行う。
- 問** 認定に向けて作業中・手続中の事案があれば進捗状況は。
- 答** 県の担当者との意見交換・問い合わせ等して戦略品目等の資料提供を受けるなどの情報収集を行っている。
- 問** 戰略品目認定を得た際のメリットは。
- 答** 認定後に拠点産地の認定を目指す事となる。拠点産地の活動には県からの産地指導、技術問題の解決及び各種事業の導入支援が受けられる。
- 問** コーヒー・バニラ生産者への本町の対策は。
- 答** コーヒー生産組合も設立さ



戦略品目・拠点産地認定に向けて、町議会議員によるバニラ農園視察

- 問** 戰略品目認定とは。
- 答** 農林水産物の市場競争力の強化により生産拡大・付加価値を高めることができるもの。
- 問** コーヒー・バニラの認定の可能性は。
- 答** 認定には、栽培面積や安定出荷体制の確立など各種要件が必要、コーヒー・バニラは認定要件自体が定められていない。現時点での認定は困難。
- 問** 認定が可能である場合、その手続きは個々で行うのか。
- 答** 認定の可否は現時点では困難、認定作業は生産者やその団体と本町が連携して行う。
- 問** 認定に向けて作業中・手続中の事案があれば進捗状況は。
- 答** 県の担当者との意見交換・問い合わせ等して戦略品目等の資料提供を受けるなどの情報収集を行っている。
- 問** 戰略品目認定を得た際のメリットは。
- 答** 認定後に拠点産地の認定を目指す事となる。拠点産地の活動には県からの産地指導、技術問題の解決及び各種事業の導入支援が受けられる。
- 問** コーヒー・バニラ生産者への本町の対策は。

れていることから戦略品目選定・拠点産地認定に向け取り組む、バニラ生産者とは意見交換を行う。

要望 コーヒー・バニラは県内や本町でも知名度は低い、しかし付加価値では他の作物に対して勝りはしても劣りはない。特にバニラは高付加価値が否めず高収入が望める作物である。産業振興の面からも本町は、このような作物を調査・研究して、どうあるべきかを生産者と真摯に向き合う必要がある。一日でも早く

内や本町でも知名度は低い、しかし付加価値では他の作物に対して勝りはしても劣りはない。特にバニラは高付加価値が否めず高収入が望める作物である。産業振興の面からも本町は、このような作物を調査・研究して、どうあるべきかを生産者と真摯に向き合う必要がある。一日でも早く

く戦略品目に選定され拠点産地の認定が取り付けられるよう要望する。

問 児童虐待・ヤングケアラー・子供の貧困の実態把握は地域協議会として把握を行っている

答 事務局を福祉課に置き、教育委員会・久米島交番・公立久米島病院・中央児童相談所・南部保健所・南部福祉事務所である。

問 不登校児童の実情に応じて「よんなあ教室」を活用し、学

答 不登校児童の実情に応じて「よんなあ教室」を活用し、学校復帰・社会的自立に向けた様々な支援とスクールカウンセラー、小中アシスト支援員を派遣するなど不登校対策を行っている。

要望 子供の貧困は、国や県でも最重要課題として位置づけられているものと思っていふ。本町の子供たちに対する何が最良の対策か研究・検討

問 第3次久米島町観光振興基本計画での現状と課題は「沖縄本島の観光客にも久米島はあまり知られていない」。現状から久

米島の魅力を知ってもらうため、航空会社等と連携して商品を出展し情報発信、販売促進の強化などを強化する

を加えて今後の対策や支援に活用できるように要望する。

要望 「知られていない久米島」は「観光立町を目指す」としている本町の観光産業は致命的であると言わざるを得ない。航空運賃等を低減することしかし、資金を投じて新規メディア・ウェブサイトなどあらゆる広報媒体を通して広く本町をアピールして観光客を呼び込む等の対策を講じることを要望する。



宇江原 総清 議員

問 宇江城城跡後の道路はミサイル道路とみる

答 道路は令和9年に完了

問 ハマスとイスラエル戦争で、幼児、看護師、医師等約4万人近く虐殺された。台湾海峡で中国福建省とわずか2kmの金門島で米軍が軍事訓練、日本は台湾有事に前のめりで、沖縄を犠牲にする。世界情勢を想定し質問。(1)鳥島射撃場にいつ劣化ウラン弾を使用されてもおかしくないと思う。(2)町のガン死亡者は増えている。原因是劣化ウラン弾とみている。(3)ジョン・ミッチャエルの米公文書は。④比屋定バントから宇江城城跡の間、道路建設をしているが私はミサイル道路とみる。

答 ①は考えていない②③は分析結果などで放射性物質の影響はない④は9年度完了予定。

問 反論、①は2014年5月、鳥島射撃場にキノコ雲様の黒煙があつたと報道。(2)③は県内自治体順位で、平成19年35位であったが、平成19年成29年には10位、ワースト10位に。各地域毎に疫学調査を

実施すべき。

答 町には突出した悪いデータはない。疫学調査予定もない。アメリカはウソをつく習性がある。湾岸戦争やイラク戦争で多くの劣化ウラン弾を撃ち込み、多くの子供達を白血病、脳腫瘍、リンパ腺ガンで苦しんでも「フセインがやつたことだ」と認めていない。町民の在り方も問題だ。平成24年5名の小児ガン発症の時、日本と米政府に訴えるべきだった。

問 星野リゾートはコテージ式病院にマッチしたもの。竹富島では、人口4千前後。予算は123億円とか。本町と大変な違いだと理解。(2)の階段式コンクリート護岸は、以前にも話したが、私は県と調整し、「このコンクリート護岸を撤去しない限り、バーデハウスは塩によって潰される」とこの因果関係は県も理解し、そのコンクリート護岸は撤去の運びに進んだ。にもかかわらず、ほったらかした。バーデハウス個体、機械室も駄目になつた。

から参加表明を受けたが、4月と5月に提案辞退を受けた。(2)のコンクリート護岸の撤去等はない。(3)の景観形成重点地区は集落景観保全に努めたい。

スを買つ人はいません。もし、塩害を隠してオファーに売却あるいは対応した場合に、賠償問題にもなりかねない。

問 階段式護岸の撤去は
答 護岸の撤去はしない

問 ①バーデハウスの再開を具体的に。(2)バーデハウス前の階段式コンクリート護岸の撤去、改修は。(3)5月11日竹富島を視察した。古民家を残し、赤瓦が映えて美しかった。失われた自然を町はどう再生するか。

問 県との調整は10年前。これを分かりながらバーデハウ



階段式コンクリート護岸による畳石・バーデハウス一帯の塩害状況（2002年、2006年）



棚原 哲也 議員

問 バーデハウス再生の進捗状況は

答 参加表明した2社が共に辞退となった

答 辞退理由は資材高騰による建築単価と施工条件等が考えられる。現時点では企画提案内容の公表は出来ない。

問 選定委員会を開く直前の辞退である。別の方法で公募をする中、事業者選定に至らなかつた要因を分析する必要がある。企画提案書の内容にはホテル建設等も含んでいたと思う。議会に対し説明する必要がある。町長の考えは。

答 ホテル建設、バーデハウスの開発等は公募条件に載つてあるが、町としては民間で提案しているので、全て民間での再生に向けて進めていきたい。

答 機械室は使えない状況である。バーデハウス再生には町

問 一社から企画提案書が提出されたとあるが、バーデハウスは全面改修になると思うので、これからも民間の力をホテル等の計画はあつたか。

答 辞退理由は資材高騰による建築単価と施工条件等が考えられる。現時点では企画提案内容の公表は出来ない。

問 選定委員会を開く直前の辞退である。別の方法で公募をする中、事業者選定に至らなかつた要因を分析する必要がある。企画提案書の内容にはホテル建設等も含んでいたと思う。議会に対し説明する必要がある。町長の考えは。

答 ホテル建設、バーデハウスの開発等は公募条件に載つてあるが、町としては民間で提案しているので、全て民間での再生に向けて進めていきたい。

答 機械室は使えない状況である。バーデハウス再生には町

予算・補助事業等は使うことが出来ないと思う。バーデハウスは全面改修になると思うので、これからも民間の力を借りながら進めていきたい。

問 町民の健康増進からすると温泉を掘削し深層水と抱き合わせた施設の再開は出来ないか。

答 町で温泉掘削の実績はない。バーデハウス再開に向け提案にあつた温泉等々も含め検討していく。



バーデハウス久米島

問 風の帰る森施設の再開は交流活動拠点として活用する

答 現在、地元の観光事業者、県外の大手運輸事業者、沖縄県本島、県外で福祉事業を開いている業者から提案、要望を受けている。事業者の中には風森エリアに新たに建物を建設し、既存施設と一体的に活用したいとの意見もある。風森の基本計画にも様々な分野の複合利用を推進することとしているので計画に沿って、地元の団体が窓口となり施設の再開に向け準備を進めていく。

問 3月末の公募に向け当該事業者と対話を重ね準備しているが、寄附者の意見、意向を踏まえ公募を保留、運営主体や方策を検討している。地元団体主体で運営をとの意見がある。再開に向けての見通しは。

答 現在、地元の観光事業者、県外の大手運輸事業者、沖縄県本島、県外で福祉事業を開いている業者から提案、要望を受けている。事業者の中には風森エリアに新たに建物を建設し、既存施設と一体的に活用したいとの意見もある。風森の基本計画にも様々な分野の複合利用を推進することとしているので計画に沿って、地元の団体が窓口となり施設の再開に向け準備を進めていく。

活用するのであれば町民が使用できる屋外トイレ建設が必要である。検討を。

その他 観光振興基本計画の中から

1. ビーチの保全美化、毎日のように打ち上げられる漂着ごみ対策
2. イーフ地区の県道未整備地区の早期整備
3. 津波災害時の一時避難タワーの整備

9月定例会議会の傍聴へ行こう!!
定例会は
9月3日(火)～27日(金)
開会予定

定例会日程の詳細はホームページをご覧ください。



吉永 将志 議員

問 要支援者の金銭管理等の状況は

答 町社会福祉協議会が日常自立支援事業において金銭管理等を行っている

問 現在、支援をして欲しい方への対応が行き届かない現状。今後どう動いていくか。

答 早急に対応が必要な案件。情報収集し社協と協議、調整していく。

問 第2次久米島町地域福祉推進計画の権利擁護・虐待防止対策の推進には「権利擁護のための周知と制度の利用のための支援を目標としているが。

答 行政の取組として「広報・周知」がある。そこが弱かつたという部分がある。

問 社協への確認では「現状は利用者が多く、新規の利用者の受け入れは厳しい状況」と伺つたが把握しているか。

答 社協の現状は、随時調整を行っている。本町から委託している事業に関して、問題・課題があればその都度会議を開き、状況は把握している。

問 社協への聞き取りでは、「社協だけでは解決できる問題ではない。キャッシュレスの活用や金銭管理の民間事業所の参入も必要」とあつた。この社協が進もうとしている方向性は把握しているか。

答 今後、社協の顧問弁護士等も同席してもらい協議していく。

要望 2次久米島町地域福祉

問 現在、支援をして欲しい方への対応が行き届かない現状。今後どう動いていくか。

答 早急に対応が必要な案件。情報収集し社協と協議、調整していく。

問 第2次久米島町地域福祉推進計画の権利擁護・虐待防止対策の推進には「権利擁護のための周知と制度の利用のための支援を目標としているが。

答 行政の取組として「広報・周知」がある。そこが弱かつたという部分がある。

問 社協への確認では「現状は利用者が多く、新規の利用者の受け入れは厳しい状況」と伺つたが把握しているか。

答 社協の現状は、随時調整を行っている。本町から委託している事業に関して、問題・課題があればその都度会議を開き、状況は把握している。

問 社協への聞き取りでは、「社協だけでは解決できる問題ではない。キャッシュレスの活用や金銭管理の民間事業所の参入も必要」とあつた。この社協が進もうとしている方向性は把握しているか。

答 今後、社協の顧問弁護士等も同席してもらい協議していく。

要望 2次久米島町地域福祉

問 現在、支援をして欲しい方への対応が行き届かない現状。今後どう動いていくか。

答 早急に対応が必要な案件。情報収集し社協と協議、調整していく。

問 第2次久米島町地域福祉推進計画の権利擁護・虐待防止対策の推進には「権利擁護のための周知と制度の利用のための支援を目標としているが。

答 行政の取組として「広報・周知」がある。そこが弱かつたという部分がある。

問 社協への確認では「現状は利用者が多く、新規の利用者の受け入れは厳しい状況」と伺つたが把握しているか。

答 社協の現状は、随時調整を行っている。本町から委託している事業に関して、問題・課題があればその都度会議を開き、状況は把握している。

問 社協への聞き取りでは、「社協だけでは解決できる問題ではない。キャッシュレスの活用や金銭管理の民間事業所の参入も必要」とあつた。この社協が進もうとしている方向性は把握しているか。

答 今後、社協の顧問弁護士等も同席してもらい協議していく。

要望 2次久米島町地域福祉

問 現在、支援をして欲しい方への対応が行き届かない現状。今後どう動いていくか。

答 早急に対応が必要な案件。情報収集し社協と協議、調整していく。

問 第2次久米島町地域福祉推進計画の権利擁護・虐待防止対策の推進には「権利擁護のための周知と制度の利用のための支援を目標としているが。

答 行政の取組として「広報・周知」がある。そこが弱かつたという部分がある。

問 社協への確認では「現状は利用者が多く、新規の利用者の受け入れは厳しい状況」と伺つたが把握しているか。

答 社協の現状は、随時調整を行っている。本町から委託している事業に関して、問題・課題があればその都度会議を開き、状況は把握している。

問 社協への聞き取りでは、「社協だけでは解決できる問題ではない。キャッシュレスの活用や金銭管理の民間事業所の参入も必要」とあつた。この社協が進もうとしている方向性は把握しているか。

答 今後、社協の顧問弁護士等も同席してもらい協議していく。

要望 2次久米島町地域福祉

問 現在、支援をして欲しい方への対応が行き届かない現状。今後どう動いていくか。

答 早急に対応が必要な案件。情報収集し社協と協議、調整していく。

問 第2次久米島町地域福祉推進計画の権利擁護・虐待防止対策の推進には「権利擁護のための周知と制度の利用のための支援を目標としているが。

答 行政の取組として「広報・周知」がある。そこが弱かつたという部分がある。

問 社協への確認では「現状は利用者が多く、新規の利用者の受け入れは厳しい状況」と伺つたが把握しているか。

答 社協の現状は、随時調整を行っている。本町から委託している事業に関して、問題・課題があればその都度会議を開き、状況は把握している。

問 社協への聞き取りでは、「社協だけでは解決できる問題ではない。キャッシュレスの活用や金銭管理の民間事業所の参入も必要」とあつた。この社協が進もうとしている方向性は把握しているか。

答 今後、社協の顧問弁護士等も同席してもらい協議していく。

要望 2次久米島町地域福祉

問 現在、支援をして欲しい方への対応が行き届かない現状。今後どう動いていくか。

答 早急に対応が必要な案件。情報収集し社協と協議、調整していく。

問 第2次久米島町地域福祉推進計画の権利擁護・虐待防止対策の推進には「権利擁護のための周知と制度の利用のための支援を目標としているが。

答 行政の取組として「広報・周知」がある。そこが弱かつたという部分がある。

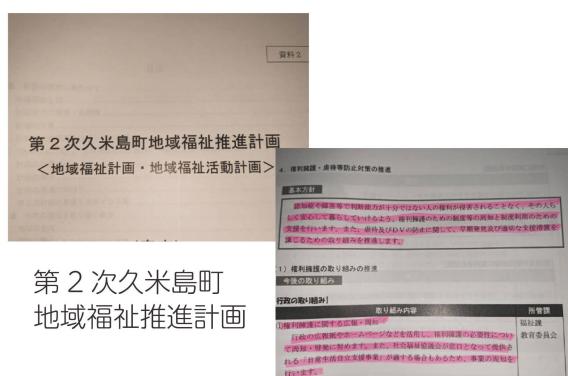
問 社協への確認では「現状は利用者が多く、新規の利用者の受け入れは厳しい状況」と伺つたが把握しているか。

答 社協の現状は、随時調整を行っている。本町から委託している事業に関して、問題・課題があればその都度会議を開き、状況は把握している。

問 社協への聞き取りでは、「社協だけでは解決できる問題ではない。キャッシュレスの活用や金銭管理の民間事業所の参入も必要」とあつた。この社協が進もうとしている方向性は把握しているか。

答 今後、社協の顧問弁護士等も同席してもらい協議していく。

要望 2次久米島町地域福祉



問 町営住宅の活用状況は?

答 備10団体で44戸を整備し、5月現在、1戸の空室

問 入居希望者に該当されるている状態で待機されているのは何世帯か。

答 新築の予定はない。

問 行政懇談会の開催を

答 現在442万円274円の未済がある。3年度には41万7130円の未済欠損で処理した。確実に減るよう取り組んでいく。

要望 困っている方が最後まで安心できる環境づくりを。

問 堆肥センターの現状は?

答 5年4月より民間事業者に委託。堆肥の生産量増産及び品質向上に取り組む

問 これまで町長は「開催していく」「検討する」と答弁しているが4年半未開催。「聞きます」「考えます」「動きります」の公約は出来ているか。

答 新型コロナウイルスで行動制限がかかっている中で集会

要望 久米島でも良質な堆肥が出来てきている。次はどうやって使ってもらうかが重要。伊江村では一般財源と農林水産省の化学肥料低減定着対策事業を活用し、堆肥の散布まで農家負担なしの年度もある。久米島でも堆肥を使いややすい環境づくりを目指す。

17 くめじま議会だより No.89 2024(令和6)年9月1日



新垣 幸子 議員

問 飼料購入支援補助の復活を

答 国・県に訴え続ける

問 飼料購入支援補助事業を復活させる方針はありますか。

答 4年度の平均価格が53万3,326円、5年度が42万5,758円である。

問 町・JA久米島支店・久米島和牛改良組合の3者で講師を招聘して勉強会や意見交換会を開催してはどうか。

答 昨年度、農協共済組合主催の飼養管理に関する勉強会や沖縄本島への視察研修などを行っている。

問 調べた資料の3重要点ですが、①購買者の要望に応じた子牛を生産する②常に枝肉や子牛市場の情報を、購買者の要望に基づいた血統選択などがある。③自給飼料生産が必要である。特に③のトウモロコシや米ぬか、酒かすなどを混ぜて島内で飼料を生産することが出来ないか伺う。

答 今後、和牛改良組合やJAの方と意見交換し検討したい。

問 今後、専門家を招聘して、特に重要な購買者の要望に応じた子牛生産のノウハウや血統選択などの勉強会と意見交換会を持つことは。

問 牛セリの状況は。

答 4年度の平均価格が53万3,326円、5年度が42万5,758円である。

問 避難場所は何か所で何名の方が避難されたか。

答 17か所、1,493名が避難した。

問 津波警報発令時の避難への課題は、避難経路の確保、人員配置、飲料水や簡易トイレの設置等に取り組む

答 5年度までコロナ交付金を活用していた。6年度はこの交付金がない為、計上していない。市町村では厳しいので国や県に強く訴え続け、どのような支援が出来るのか検討する。



子牛セリの様子

問 今後の平和教育の取り組みは、教育活動全体を取り組んでいく

答 平和学習は、慰霊の日に受けた取り組み以外に常日頃から行われている。



儀間日の出御願一本松付近（津波避難場所）

問 要配慮者（災害弱者）の避難ルール作りや夜間ににおける避難支援者を特定する。「避難行動計画」を策定。支援者は家族、地域住民がキーパーソンとなり訓練を行う必要がある。

問 各学校では、6月23日の慰靈の日に向けて特設授業及び

平和集会等を開催している。

答 これまで50名余りの方がいる。OB・OGと一緒に意見交換しながら希望に添えられるようなサポートが必要。

問 行政が地域おこし協力隊へできることは、協力隊へできるとは、OBC・OGとの意見交換やサポート体制が必要

答 3月17日、町営塾（久米島学習センター）、放課後教室「まなびや」、子どもの居場所サポート教室「よんなあ」、町営寮、移住定住推進、サンゴ保全活動、計16名の地域おこし協力隊の実績を交えた発表があった。行政として地域おこし協力隊へ何ができるか。

問 久米島博物館で開催している「平和展」や「久米島町史資料編1久米島の戦争記録」を活用し、教育活動全体で取り組んでいく。

問 今こそ平和発信が強く求められているが今後の取り組みは。

答 久米島博物館で開催している「平和展」や「久米島町史資料編1久米島の戦争記録」を活用し、教育活動全体で取り組んでいく。



ねえ
教えて!

委員会・議員活動レポート

活動の様子を
見てみよう!



**Q 議会って
定例会・臨時会以外では何しているの？**

**A 議会では定例会や臨時会のほかにも様々な
委員会活動や議員活動を行っているよ！**

■ 総務・文教・民生委員会

子ども議会開催(11月予定)に向け、準備をしています。

- 4月 30日 久米島中学校・球美中学校訪問
- 5月 24日 子ども議会打ち合わせ
- 7月 11日 総務・文教・民生委員会
子ども議会オリエンテーション
- 10月 11日 子ども議会リハーサル(予定)
- 11月 12日 子ども議会本会議(予定)



子ども議会オリエンテーション

■ 議会活性化特別委員会

議会報告会・意見交換会開催に向け会議が行われました。

- 4月 30日 第1回議会活性化特別委員会
(議題:報告会・意見交換会、開催日程等)
- 5月 23日 第2回議会活性化特別委員会
(議題:報告会・意見交換会、役割分担・議事進行等)
- 6月 22日 議会報告会・意見交換会開催
- 7月 24日 議会報告会・意見交換会 振り返り



離島六村議会運営協議会石垣島視察

建設・経済委員会委員7名が5月13日～14日に南部離島六村(渡嘉敷村・座間味村・粟国村・渡名喜村・北大東村・南大東村)、一町(久米島町)の石垣島・竹富町での視察研修に参加しました。

主な目的は国が進める無電柱化の県内離島での先進施工事例(石垣市街地及び竹富島の無電柱化施工事例)の視察です。

無電柱化は本町議会でも仲泊新興通り・イーフ地区の2か所で推進するよう一般質問で取り上げています。

無電柱化の主なメリットである①「防災機能の向上」②「安全で快適な歩行空間の確保」③「良好な都市景観の創出」を目的に推進していく必要性を強く感じた研修となりました。(本島内では無電柱化が那覇国際通り及び小禄地区で施工されています)

また、竹富島の法定外税である訪問税導入に向けての説明も受けました。

建設・経済委員会 委員長 棚原哲也



竹富島無電柱化研修

十日町(新潟県)市議会久米島視察

5月15日～16日に十日町市議会、会派かがやき御一行様が視察のため、久米島に来島されました。久米島町と中里村(現:十日町市)は、なかさと交流を通じて深い親交があり、沖縄県海洋深層水研究所様、ロート製薬(冷温農業実証施設・微細藻類養殖)様、久米島海洋深層水開発(海ぶどう養殖)様、ジーオー・ファーム(牡蠣養殖)様、ほんのもり(複合型防災施設)様での現場視察が行われました。



中部地区町村議会議長会久米島視察

7月18日～19日に沖縄県中部地区町村議会議長会御一行様が視察で久米島に来島されました。町役場に表敬訪問後、海洋深層水関連施設、海洋深層水関連企業様を視察。2日目には、久米島納骨堂・久米島シーサイドパークゴルフ場を視察され町担当課職員より説明を受けました。



上: 久米島納骨堂

下: 久米島シーサイドパークゴルフ場

議会のうごき

- 令和6年5月**
- 7日・議会広報調査特別委員会
 - 8日・ゴーヤの日セレモニー(議長)
 - ・久米島まつり実行委員会(議長)
 - 10日・臨時会
 - 13日・町村議会常任委員及び副委員長実務研修会(赤嶺議員・新垣議員)
 - ・離島六村運営協議会県内視察(建設経済委員・議長)
 - ・町村議会事務局職員研修会(議会事務局)
 - 15日・町村議会新任職員研修会(議会事務局)
 - ・新潟県十日町市議会来島(～16日)
 - 16日・久米島商工会通常総会(議長)
 - 21日・全国町村議会議長会議長・副議長研修会(議長・副議長)
 - 23日・議員全員協議会
 - 24日・沖縄県土木建築部との行政懇談会(議長)
 - 30日・沖縄県町村議会監査委員協議会定例総会、研修会(盛本議員)
 - 31日・南部地区事務局職員研修会

令和6年6月

- 3日・議会運営委員会
- 8日・Sea Water Dreamフェスティバル
- 9日・ハーリー大会(儀間・鳥島・真泊)
- 10日～12日
 - ・6月定例会(一般質問・議案審議)
- 12日・海洋深層水の日
 - ・議会広報調査特別委員会
- 13日～16日
 - ・東北楽天キャンプ要請及び宮城県、仙台市関係機関廻り(議長)

表紙の写真募集します



議会だよりを町民により身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

イベント、自治体や学校行事などの写真をお寄せ下さい。
※必ず本人の承諾を得て下さい。
※謝礼はございません。
詳しくは議会事務局まで



久米島町議会
議会広報調査特別委員会
委員長 富永 永肇
副委員長 岩永 真喜
吉原 宇江 喜久
秀登 強志 清徳 肇

議会広報調査特別委員会
委員長 富永 永肇
副委員長 岩永 真喜
吉原 宇江 喜久
秀登 強志 清徳 肇

一部ではありますが議会だより89号に掲載させて頂きました。(議会広報調査特別委員会)

- 21日・真謝稻穂祭角力大会
- 22日・久米島町議会報告会・意見交換会(全議員)
- 23日・慰靈の日(久米島町慰靈祭)
- 28日～29日
 - ・久米島ハワイアンフェスティバル

令和6年7月

- 5日・臨時会
- ・議員全員協議会
- 11日・子ども議会オリエンテーション(総務・文教・民生委員)
・全国離島議長会理事会・総会(議長)
- 12日・東京一久米島直行便歓迎セレモニー(副議長)
- 18日・中部地区町村議会議長会久米島視察
- 22日・県産品優先使用の要請行動
- 24日・総務・文教・民生委員会
・議会活性化委員会
- 30日・防衛省全国情報施設協議会総会(議長)
- 31日・議会広報調査特別委員会

書籍を寄贈して頂きました

宮里恵美子氏
より佐藤幹夫著
『評伝 島成郎』
(筑摩書房)の書籍を寄贈して頂きました。



LIVE ◇久米島町議会中継始めました◇

議会中継をパソコンやタブレット、スマートフォンなどでご覧いただけるようになりました。(R5.6月定例会より開始)
議会を身边に感じてもらうために、「本会議」の様子を生中継・録画配信しています。議会傍聴にお越しになれない方も、インターネットが利用できる環境であれば自宅や外出先でも視聴できます。

久米島町
議会中継

久米島町ホームページの久米島町議会からお入りください。左記バナーをクリックしていただくとご覧になります。(こちらのQRコードからも可能です)

※録画配信は生中継後、おおよそ1週間後(土日祝日を除く)からご覧いただけます。[お問い合わせ]議会事務局 TEL:985-7128

編
集
後
記

